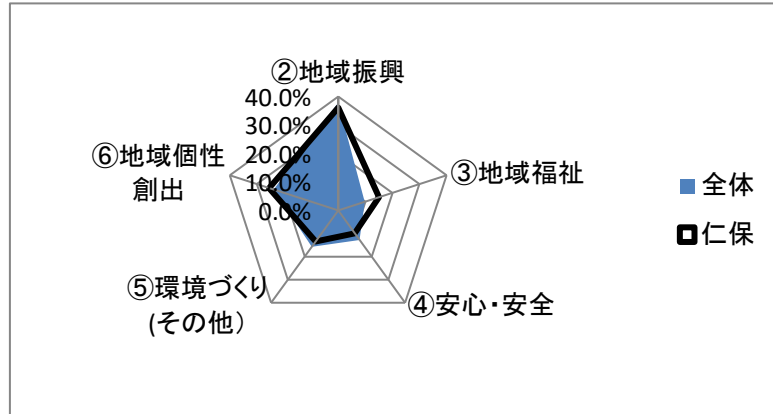


仁保自治会 地域づくり交付金事業概要(令和3年度)

■地域の情報

地域人口	2,857人	自治会数	23
世帯数	1,048世帯	自治会加入率	90.8%

※数値は、令和4年4月1日のもの



■決算状況

交付金配分枠	9,743,000 円
交付金決算額	8,992,792 円
その他収入	51,686 円
交付金決算額／配分枠	92.3%

各分野の決算

①協議会運営	4,049,256 円
②地域振興	814,618 円
③地域福祉	339,381 円
④安心・安全	222,810 円
⑤環境づくり(土木工事)	2,740,300 円
⑤環境づくり(その他)	302,726 円
⑥地域個性創出	575,387 円
決算総額	9,044,478 円

■地域づくりの活動方針(テーマ)

「広げよう いいとこ仁保 未来へつなげ!!～仁保に胸キュン～」を合言葉に住み良い地域づくりを進める

■総括

「広げよう いいとこ仁保 未来へつなげ!! ～ 仁保に胸キュン～」をキャッチフレーズに、仁保に住みたい、住み続けたいと思えるような、住み良い地域づくりを進めていきます。

令和3年度は第3次地域づくり計画の2年目で、地域の課題に対し、計画に基づき地域の活性化、また安心して生活できる環境づくりを、コロナ禍の中感染症対策を講じながら、積極的に進めてきました。

新たな取り組みとしては、第3次地域づくり計画に沿う地域振興に取り組むグループとして、仁保に胸キュン実行委員会を立ち上げ、地域の紹介パンフレット「胸キュン発見MAP」のデザイン作成や、地場野菜の栽培・販売等を通じて交流を行う「胸キュン畑」の取組を行いました。

また、前年度整備した仁保下郷地区「重石」を新たな観光資源(パワースポット)の魅力や知名度を高めるため、PR活動や情報発信を行いました。

■分野別事業名

① 協議会運営	事務局長給与、事務局員給与、事務費
② 地域振興	情報発信事業、地域交流促進事業、地域活性化応援事業 有害鳥獣被害防止推進事業、産業振興事業、定住促進事業
③ 地域福祉	高齢者サポート事業、健康増進事業、ニュースポーツ振興事業 こども高齢者交流事業①、子育て支援事業
④ 安心・安全	交通安全推進事業、防犯灯設置補助事業、自主防災活動実施事業
⑤ 環境づくり	法定外公共物等整備事業、清掃活動推進事業、環境維持保全事業
⑥ 地域個性創出	歴史文化伝承事業、こども高齢者交流事業②、地域活性化応援事業②

■重点的に取り組んだ事業

①	事業名	情報発信事業	決算額	218,571円
	目的	「第3次仁保地域づくり計画」に基づく事業実施について、地域住民への周知徹底を図る。また、広報誌やホームページ等を活用し広報活動の充実を引き続き行う。		
	実施内容	令和2年度からの「第3次仁保地域づくり計画」に基づき、2年目の事業を実施するにあたり、周知徹底を図ると共に、広報誌やホームページ等を活用した広報活動の充実を引き続き図る。		
	実施時期	通年		
	参加人数	地域内戸数 約1000戸		
	成果	仁保自治会だより年2回発行、ホームページやInstagramを随時更新		
	評価	ホームページ等で地域情報を適時地域内外に発信することにより、住民の地域意識が醸成されている。		
	今後に向けて	更にInstagram等SNSで、魅力ある情報を発信していきたい。		
②	事業名	地域交流促進事業	決算額	237,150円
	目的	令和2年度に交流促進特別交付金で整備した「巨岩・重石」を観光資源として活用し、地区内の他の観光資源と共に、情報発信をより一層行う。また、公募により独自に地域内外との交流を行っているグループを支援し、交流人口の増加を促進する。		
	実施内容	「重石」の清掃活動等を行い、来場しやすい環境を整えた。写真コンテストを実施し、仁保大農業祭りで作品を展示し、さらに「仁保の里カレンダー」に活用した。これらは全戸配布すると共に、道の駅や帰郷庵でも配布した。また、公募により地域内外との交流を行うグループを支援した。		
	実施時期	通年		
	参加人数	写真コンテスト:27人、79点 グループ支援数:4グループ		
	成果	「仁保の里カレンダー」は地域住民や各施設の来客からの好評を得た。地域グループが各自活動を行い、参加者と交流ができた。		
	評価	写真コンテストを通じて、仁保の魅力が強く発信できた。		
	今後に向けて	地域交流を一層促進するために、各団体の活動を支援していきたい。		
③	事業名	産業振興事業	決算額	258,897円
	目的	農村地区であることを活かして、農産物の生産や販売の体験を行うと共に、地区内に存在する地場産業の紹介等を通じて産業の活性化を図る。		
	実施内容	「仁保に胸キュン実行委員会」を立ち上げ、地産地消の取組「胸キュン畑」で野菜の栽培・収穫・販売体験を行った。また、同実行委員会で「胸キュンMAP」のデザインを作成した。(印刷・配布は次年度にて)		
	実施時期	通年		
	参加人数	-		
	成果	畑・MAPとも地区の人に参加してもらい、交流が図られた。胸キュン畑には中学生も参加してもらった。収穫した野菜を幼・小・中学校給食に提供した。		
	評価	好評だった畑は令和4年度も引き続き取り組んでいく。		
	今後に向けて	学校・地区外の人も取り込み、交流を図っていきたい。		